

8年生の数学は、新しい内容といえるものはそこまで多くありません。どちらかというと、「正負の数の計算をより複雑にする。」、や、「方程式を2つ使ってより高度な計算をする。」といった既存学習内容のレベルアップしたものが出てきます。

これらの学習に必要なのは、『**これまでの学習内容の定着**』です。

しっかりと、復習に取り組んで、授業を受ける準備を済ませておきましょう。(すららを使おう！)

また、論証、説明という新たな分野の学習も始まります。この分野で必要となるのは、文章を読み解く力です。しっかりと、朝読書を継続して、読み解く力を磨きましょう。

1 授業の約束

- | | |
|-------|--|
| 授業の準備 | (1) 持ち物(教科書、ファイル、Chromebook)を準備しましょう。
(2) チャイム前着席を守りましょう。 |
| 授業中 | (3) 粘り強くじっくりと考えましょう。
(4) 友達の意見やグループ学習を大切にしましょう。 |
| 授業後 | (5) 家庭学習では授業を振り返り、自力で解けるまで取り組みましょう。
(6) 提出物の期限を守りましょう。 |

2 授業で大切なこと

「考える・まちがえる・ふりかえる」です。そのために、先生や友達の意見をしっかりと聞き、自分の意見をもちましょう。間違えを茶化したりするのは絶対にやめましょう。

3 プリントの書き方

- (1) 途中の計算は必ず書き、先生の話や、友達の意見で残したいものはメモをとりましょう。
- (2) 間違えた、わからない問題は、印をつけておきましょう。復習やテスト前に確認して、復習を十分にしましょう。
- (3) 授業の終わりに「授業のふりかえり」を書きましょう。

4 家庭学習のよりよい進め方

- (1) 毎日家庭学習をしましょう。
- (2) 授業で取り組んだ問題やドリルパークを自分の力で解けるように何度も取り組みましょう。
- (3) 計算問題は解く時間を決めて、早く・正確に解けるようにしましょう。
- (4) 文章を読み、自分で式をたてる練習をしましょう。
- (5) 文章化されたものを図やグラフ・表に表す練習をしましょう。

5 評価の観点と評定について

数学科では、以下の3つの観点で評価します。評定は、各観点をまとめて評定をつけます。

I 知識・技能

数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。
ものごとを数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。

授業の取組 定期考査 月一テスト(予定) 提出物

II 思考・判断・表現

知識及び技能を活用して課題を解決する等のための必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

授業の取組 定期考査 月一テスト(予定)

III 主体的に学習に取り組む態度

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている。
- ・上記の粘り強い取組を行う中で、自ら学習を調整しようとしている。

授業の取組 月一テスト(予定) 章の振り返りシート テスト振り返り